

# 総務常任委員会

総務常任委員会に付託された議案の内容と審査状況について報告します。

## ◆白河市個人情報保護条例の一部を改正する条例

平成25年5月31日付けで行政手続法における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律が公布されたことに伴い、同法の趣旨に沿うよう白河市個人情報保護条例の改正をしようとするものです。

## ◆白河市職員の退職手当支給に関する条例の一部を改正する条例

被用者年金制度の一元化等を図るための厚生年金保険法等の一部を改正する法律の施行に伴い、地方公務員等共済組合法の一部が改正されるため、所要の改正をしようとするものです。

## ◆白河市復興産業集積区域における市税の特例に関する条例の一部を改正する条例

福島復興再生特別措置法の一部改正に伴い、引用条項の整理を図るため、所要の改正をしようとするものです。

## 樋ヶ沢財産区特別会計補正予算(第1号)

歳入歳出補正予算総額は20万4千円を増額し、歳入歳出予算総額50万5千円とするものです。

## 一般会計補正予算(第6号)

総務常任委員会関係の主な内容は、財政調整基金積立金で3億4千万円、総合行政システムカスタマイズ作業委託料で71万7千円、長期債償還元金の繰上償還分で5億1990万円などです。

▼付託された議案は、いずれも原案のとおり可決しました。

本委員会の所管事務の調査として閉会中、定住自立圏構想、地方創生、マイナンバー制度などの継続審査の申し出をし、引き続き調査することに決定しました。



# マイナンバーその1

## 社会保障・税番号制度の仕組み

- ◎個人に
- ①悉皆性(住民票を有する全員に付番)
  - ②唯一無二性(1人1番号で重複の無いように付番)
  - ③「民-民-官」の関係で流通させて利用可能な視認性(見える番号)
  - ④最新の基本4情報(氏名、住所、性別、生年月日)と関連付けられている新たな「個人番号」を付番する仕組み。
- ◎法人等に上記①～③の特徴を有する「法人番号」を付番する仕組み。

### ①付番

### ②情報連携

- ◎複数の機関間において、それぞれの機関ごとに個人番号やそれ以外の番号を付して管理している同一人の情報を紐付けし、相互に活用する仕組み
- 連携される個人情報の種別やその利用事務を番号法で明確化
  - 情報連携に当たっては、情報提供ネットワークシステムを利用することを義務付け(※ただし、官公庁が源泉徴収義務者として所轄の税務署に源泉徴収票を提出する場合などは除く)

### ③本人確認

- ◎個人が自分が自分であることを証明するための仕組み
- ◎個人が自分の個人番号の真正性を証明するための仕組み。
- ICカードの券面とICチップに個人番号と基本4情報及び顔写真を記載した個人番号カードを交付
  - 正確な付番や情報連携、また、成りすまし犯罪等を防止する観点から不可欠な仕組み



# 市民産業常任委員会

市民産業常任委員会に付託された議案の審査経過と結果について報告します。

## ◆白河市手数料条例の一部を改正する条例

条例で引用している法律名の改正と社会保障・税番号制度（マイナンバー）の施行に伴う個人番号カードの再交付手数料を規定するなど所要の改正をするものです。

**問** マイナンバーカードを取得すると住民基本台帳カードはどうなるのか。

**答** マイナンバーカードは、これまでの住基カードと同様の機能を持っているので、マイナンバーカードの交付を受ける際に返却していただくこととなる。

## 一般計補正予算(第2号)

### ●市民生活部関係

白河駅から文化交流館までの立地環境を考え、公衆トイレの充実と景観に配慮した改修を行うための費用として、白河駅前自転車等駐輪場整備事業に3500万円を補正する。

また、仮置き場の新增設のため、設置事業費3億1030万円などを補正する。

民間宅地除染対策事業として未実施地区の事業発注のための債務負担行為を設定する。

**問** 公衆トイレの改修について

**答** 乗降客や観光客の利用者に良い印象を与えられるように、特に女性の視点でグレードの高い仕様としたい。

### ●産業部関係

首都圏等からの参加者による農業体験記録DVDを作成し、JA白河青年連盟と白河商工会議所青年部と連携し、機会を捉えて放映し、風評被害払拭を図っていくための費用として農工商関連推進事業240万8000円などを補正する。

付託された議案は、いずれも全会一致で、原案のとおり可決しました。



# マイナンバーその2

## 個人番号カード、通知カードについて

	住民基本台帳カード	個人番号カード	通知カード
<b>1 様式</b>	 <ul style="list-style-type: none"> <li>○住民票コードの券面記載なし</li> <li>○顔写真は選択制</li> </ul>	 <ul style="list-style-type: none"> <li>○個人番号を券面に記載(表面に記載する方向で検討)</li> <li>○顔写真を券面に記載</li> </ul>	 <ul style="list-style-type: none"> <li>○個人番号を券面に記載</li> <li>○顔写真なし</li> </ul>
<b>2 作成・交付</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○即日交付又は窓口へ2回来庁</li> <li>○人口3万人未満は委託可能</li> <li>○手数料:1000円が主(電子証明書を搭載した場合)</li> <li>○交付事務は自治事務</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○通知カードとあわせて個人番号カードの交付申請書を送付し、申請は郵送で受け付けるため、市町村窓口へは1回来庁のみ(顔写真確認等)を想定</li> <li>○全市町村が共同で委任することを想定。民間事業者の活用も視野</li> <li>○手数料:今後検討</li> <li>○交付事務は法定受託事務</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○全国民に郵送で送付するため、来庁の必要なし。</li> <li>○全市町村が共同で委任することを想定。民間事業者の活用も視野</li> <li>○手数料:なし</li> <li>○交付事務は法定受託事務</li> </ul>
<b>3 利便性</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○身分証明書としての利用が中心</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○身分証明書としての利用</li> <li>○個人番号を確認する場面での利用(就職、転職、出産育児、病気、年金受給、災害等)</li> <li>○市町村、都道府県、行政機関等による付加サービスの利用</li> <li>○電子証明書による民間部門を含めた電子申請・取引等における利用</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○個人番号カードの交付を受けるまでの間、行政機関の窓口等で個人番号の提供を求められた際に利用可能 (番号法に基づく本人確認のためには、通知カードのほか主務省令で定める書類の提示が必要。)</li> </ul>

# 教育福祉常任委員会

教育福祉常任委員会に付託された議案の審査経過と結果について報告します。

## ◆釜子小学校建設事業校舎建設建築工事請負契約の締結について

釜子小学校建設事業校舎建設建築工事請負契約を締結しようとするため、議会の議決を得るものです。

○工期・議会の議決を得た日の翌日から平成29年3月24日まで

○契約金額・4億2120万円

○契約の方法・制限付一般競争入札

○契約の相手方・(株)松本工務店(白坂愛宕山)



釜子小学校校舎

※写真中央奥が改築予定校舎



カルチャーネットワーク事務局

## ◆白河市白河文化交流館の指定管理者の指定について

白河市白河文化交流館の指定管理者の指定について、議会の議決を得るものです。

○管理を行わせる施設・白河文化交流館

○指定管理者・特定非営利活動法人カルチャーネットワーク(中田)

○指定期間・白河市白河文化交流館条例の施行の日から平成32年3月31日まで

**問** 白河市白河文化交流館の指定管理者の選定方法の経過について

**答** 2回の審査会を開催し、直営か指定管理かについて検討した。更に、指定管理についても、公募とするか、非公募とするか検討を重ねた。

審査会の中では、単純に費用比較ばかりではなく、地元との関わりや人との繋がりが、さらには中長期的な安定運営のためにも技術集積が必要なことから、実績のある市内の事業者が指定管理者として相応しいとの判断から、非公募とした。

人材育成についても、専門家と言われる方を迎えて、土台づくりをする上で重要視をした。

## 一般会計補正予算(第2号)

### ●教育委員会関係

**問** 市民会館一般管理費の財源補正について

**答** 白河文化交流館のプレ事業として、市民会館の自主事業委託料のひとつで「みんなでつくるコンサート」の財源補正である。今回、「福島県地域創生総合支援事業・サポート事業」の補助が該当となったことから歳入の財源を補正したものである。

### ●保健福祉部関係

**問** 放課後児童健全育成事業の児童クラブについて

**答** 現在、学校から離れた施設で運営している、かまこ児童クラブ、しらかさ児童クラブの児童の安全安心、利便性を確保する上で、本年設計委託料を計上し、来年度を目途に建設を予定している。また、受け入れ児童を増員し、現在給食室の一部を使用しているおおぬま児童クラブについても、同様に考えている。いずれの施設も学校の敷地内に建設を予定している。



おおぬま児童クラブ

## 国民健康保険特別会計補正予算(第2号)

人事異動に伴う人件費整理、人事異動に伴う人件費整理、レセプト(診療報酬明細書)分析業務委託及び基金への積立金など、歳入歳出補正総額4244万9千円の増額となり、歳入歳出予算総額78億7067万9千円となりました。

## 介護保険特別会計補正予算(第2号)

人事異動に伴う人件費整理、基金への積立金及び国県等への過年度返還金など、歳入歳出補正総額1億1067万4千円の増額となり、歳入歳出予算総額52億7105万9千円となりました。

付託された議案は、いずれも全会一致で、原案のとおり同意・可決しました。



# 建設水道常任委員会

建設水道常任委員会に付託された議案の内容と審査状況について報告します。

## ◆利益の処分及び決算の認定について

地方公営企業法の規定により、平成26年度白河市公営企業会計の利益の処分について議会の議決を求めるとともに、平成26年度白河市公営企業会計の決算について議会の認定に付するものです。

① 平成26年度白河市水道事業会計

② 平成26年度白河市工業用水事業会計を審議しました。

## 問 有収率の向上対策について

震災以来漏水が非常に多かったが、この間漏水対策に取り組んで来た結果向上した。

## 問 使用量の検針と徴収は委託しているのか。

民間事業者に委託しており、委託料は5100万円程度である。

## 問 工業用水の今後の使用見込みについて

4000トンの供給能力があるが、三菱ガス化学は当面100トンの予定となっている。

## 簡易水道事業特別会計 補正予算(第1号)

歳入歳出補正総額は2309万9千円増額となり、歳入歳出予算総額は4億4634万2千円となりました。

主な内容は、耐震診断業務委託、久田野地内配水管布設替工事などです。

## 水道事業会計 補正予算(第1号)

今回の補正予算の主な内容は、配水管移設工事及び人事異動に伴う人件費整理などです。

## ◆白河市営住宅条例の一部を改正する条例

福島復興再生特別措置法の一部改正に伴い、引用条項の整理を図るため、所要の改正をするものです。

## ◆(仮称)白河市民文化会館建設事業屋外整備工事請負契約について

(仮称)白河市民文化会館建設事業屋外整備工事請負契約を締結しようとするため、議会の議決を得るものです。内容としては、白河文化交

流館建設以外の敷地内に係る屋外整備、及び駐車場舗装工事を実施するものです。

なお、駐車場については、一般車両315台、大型車5台の駐車が可能となります。

## ◆小峰城跡(竹之丸)ほか石垣復旧工事請負契約の一部変更について

小峰城跡(竹之丸)ほか石垣復旧工事請負契約の一部を変更するため、議会の議決を得るものです。

主な内容としては、新補石材使用数量の増加、賃金水準、物価水準の高騰、及び江戸時代から現存する石垣底部の調査等のために工期を延長するものです。

## ◆不動産の取得について

国指定史跡「小峰城跡」の保存及び活用に供するため、当該用地の取得について、議会の議決を得るものです。

## 公共下水道事業特別会計補正予算(第2号)

歳入歳出補正総額は362万2千円増額となり、歳入歳出予算総額は20億7149万4千

円となりました。

歳入については、繰入金362万2千円を増額補正するものであり、歳出については、公共下水道事業費362万2千円を増額補正するものです。

主な内容は、人事異動に伴う人件費の整理です。

## 農業集落排水事業特別会計補正予算(第1号)

歳入歳出補正総額は1348万8千円減額となり、歳入歳出予算総額は8億924万4千円となりました。

主な内容は、人事異動に伴う人件費の整理です。

## 個別排水処理事業特別会計補正予算(第1号)

歳入歳出補正総額は113万7千円増額となり、歳入歳出予算総額は1億955万円となりました。

主な内容は、人事異動に伴う人件費の整理です。

## 一般会計補正予算(第2号)

主な内容は、マイタウン白河改修事業費、丹羽長重廟周辺整備事業、小峰城跡石垣の復旧事業及び道路維持管理事業費などです。



丹羽長重廟

問 マイタウン白河の改修内容と、リファイニング建築の特徴について

答 建設後44年が経過しており老朽化や震災による劣化が進行していることから、部分的な修繕ではなく、施設全体の利活用を総合的に考慮した施設として再生を図るものがある。

リファイニング建築とは、首都大学東京特任教授の青木茂氏が提唱する再生建築の手法である。

新築に比べて建築コストが低いことや、廃材を大幅に減量できる環境にやさしい工法であり、構造躯体の軽量化や補強をすることで、新築同等の耐震性を備えることが可能な先進的工法と言われている。

付託された議案は、いずれも原案のとおり可決、同意または認定しました。